

随想

人工頭脳 (AI) 再び

(株) P P Q C 研究所 加藤 宏光

先月(令和七年二月)に中国へ出張した時のこと、いつも世話になっている通訳が移動中の車の中で《豆包(Douba)》というAIを使って見せてくれた。

スグレモノで、驚いた。まず、言葉でやり取りをする。スマートフォンにインストールした豆包に問いかけると、難易度に応じた時間で(普通の問いであればほとんど同時に)、優しい女性の声で答えが返ってくる。それも、中国語で問いかけると中国語で答え、英語なら英語で答えるのである。中国語の答えが正しいか否かはわからないが、英語での答えは極めて妥当である。

問いかけが数語で簡単であつ

ても、答えはその数倍、時には一〇倍近いボリュームであることが多い。

また、ソフトが動くスマートフォン性能も半端でない。ソフトが稼働していると、著者と通訳との会話に《豆包ちゃん》が割り込んでくる。結構おしゃべりなのである。

ちなみに《日本語》はまだ苦手とのこと!『まだ、勉強中です』と答えるところが何だかわい。

近頃《チャットGPT》を耳にした方は多いだろう。チャットGPTは、ユーザーが入力した質問に対して、まるで人間のよう自然な対話形式で回答するAIのサービスである。特徴としては、膨大なインターネット

ト上の情報を学習し、幅広いジャンルの質問に対応できる。文章の要約、翻訳、プログラミングコードの生成等、さまざまな機能があり、議事録やレポートの作成、文章の校正等、ビジネスの業務効率化の他に、小説や詩の創作、ゲームでの会話や生成する用途でも利用できる。アメリカの人工知能研究所「OpenAI」が開発・提供しているサービスで、イーロン・マスク氏(注1)をはじめとした実業家たちが出資している(注2)。

チャットGPTやGoogleのAIについては、数年前からしばしばマスコミで話題となっている。われわれ科学に接する者たちでも、昨近論文作成

にAIの助けを頼ることがままあると聞く。

さらに驚くニュースが先月飛び込んできた。《ディープシーク》と呼ばれる中国製のAIが現れたのである。しかも、オープンソースで無料だという。この原稿を書いている最中にスマートフォンを介して心ならずも《GoogleのAI》を使つた。その経過で、検索を進めるなら月額三八の表示が出てきた(契約はしなかった)。それほど深掘りをしなくても、年額六万八、〇〇〇円ほどかかることになる。チャットGPT開発には一五〇億円以上掛けているとのこと、サブスクリプションで回収は当然かもしれない。それが、中国製のディープシー

クはほぼ同等機能で無料の上、オープンソース(個人が自由に利用でき、分析・改良できる)。さらに驚くことは、開発費用が五〇〇万円すなわち七億円ほどの安価で出来上がっている、という(注3)。つまりは、最先端半導体を使わず、旧世代の汎用型を上手く併用稼働することで、チャットGPT並みの性能を引き出しているのである。そして、このAIを開発したのが三六歳の若者であることも驚きである。その脅威はGoogleやチャットGPTを開発した会社の株価が一時的とはいえ暴落したことに現れている。

さて、先ほどの《豆包ちゃん》であるが、通訳が《初生雛の最適な餌付け飼料はどんなものか》について問いかけたところ、その答えは飼料会社の正解にはほぼ一致していた。《初生雛の最適な餌付け飼料はどんなものか》といった専門のまた特殊な質問に、数秒(一〇秒程度か?)で常識的な正解を与える能力には感心させられる。しか

し、この応答で著者が感じた印象は『なるほど、世に広がっている情報を可及的に集めて、文章化しているな!』というものであった。

著者は過去六〇年にわたって鶏産業と鶏病に携わってきた。その経験と野外における検証は必ずしも教科書的な正解に一致しない。そして生物を扱う産業では、時に世界が一転するほどの変移(変異や変位)が起こる。たとえば、高病原性鳥インフルエンザや新型コロナウイルス等では、常識がなく、専門家が語るものが正しくないことが、歴史で正される。不思議なことに、歴史に正される前に正解がわかることがあり、それはその前に異論として《多くは無視される》。AIがそれらまでを網羅することは、当面無理であるう。

つまりは、現状AIはヒトに付き従うレベルを超えない。しかし、このモラトリアムはどれくらい続くのだろうか!

注1: GoogleのAIによると、イーロン・マスク氏は、電気自動車や宇宙開発、太陽光発電等の分野で成功を収めたことで知られる起業家。【イーロン・マスクのすごいところ】電子決済サービス「PayPal」を創業、インターネットビジネスで成功を収めた。電気自動車、宇宙開発、太陽光発電等の業界を再興させた。スペースXを創業し、宇宙開発を「再利用可能」という思想で再設計した。火星への有人飛行の実現を目指している。アスベルガー症候群であることを公表している。人とは違う感性やこだわりを持っている。前人未到の個人資産を突破している。(三、〇〇〇億以上)。トヨタ自動車の時価総額を上回る個人資産を持つ。【イーロン・マスクの経歴】スタンフォード大学の大学院を二日で退学した。スペースX、テスラのCEOを務めた。X社(旧Twitter) 執行会長兼CTOを務めた、等々。

注2: チャットGPTについてスマートフォンで検索すると、《ソースについて、この概要はAIを利用して生成されました。ウェブ全体から収集した情報と、人、場所、物事に関する情報を蓄積したGoogleのナレッジグラフの情報によってサポートされています。生成AIは開発中のため、情報の品質にはむらがある可能性があります》と出てくる。スマートフォンで何気なく何かを調べると、自分の意図とは関係なくAIが答えを出してくれている。

注3: タダほど怖いものはない。MS(マイクロソフト) Windowsはご存知だろう。MSが最初に開発したのはMS-DOSというプラットフォーム。これはその前のCP/Mというプラットフォームホームソフトの進化型であったが、当初無料でパソコンに付属されていた。無料なのでどのパソコンにもソフトにも応用されていたが、ほぼ世界に普遍的に行き渡った時に、突然有料です!となった。うまい商売戦略、と感心したことを思い出す。

注2: チャットGPTについてスマートフォンで検索すると、